

ふれあい記録

実施日：令和5年3月16日（木）

当番者名：江口正彦 船橋エイ子

コース名：湘南軽便鉄道の廃線跡を辿る

(通算回数 第184回)

天 候：晴

参加者名：石井 公子、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、熊谷 信雄、柴崎 幸治、新海 昭、田中 宏巳、西村 寿文、船橋 エイ子、宮原 宏至、和田 龍子
(13名)(五十音順)

ビジター：笠井 欣三、齋藤 國男、野口 和夫、山奥 利光、山腰 策次郎、田野実 裕之、添田 純子(7名)

計20名(内、男性15名 女性5名)

交通：集合 小田急小田原線 秦野駅 改札口 9時25分

往 路：京急金沢文庫7:41発(特急)⇒8:00着横浜(乗換)相鉄横浜8:07発(急行)⇒8:44着海老名(乗換)小田急海老名8:55発⇒9:16着秦野

復 路：JR 二宮駅15:36⇒横浜16:16

コース：秦野駅9:30⇒9:35 弘法の清水⇒10:05 軽便鉄道秦野駅10:10⇒10:20 龍門寺10:30⇒10:35 台町駅跡10:38⇒10:45 命徳寺10:50⇒11:17 養泉院11:20⇒11:35 大竹駅跡11:38⇒12:12 上井ノ口駅跡12:14⇒12:16 蓑笠神社12:18⇒12:30 巖島湿生園(昼食)13:15⇒13:20 米倉禅寺13:45⇒13:47 下井ノ口駅跡⇒14:22 一色駅跡⇒14:45 中里駅跡⇒15:15 二宮駅跡⇒15:30 JR 二宮駅

みどころ：秦野葉たばこの運搬に活躍した「軽便鉄道」廃線跡を歩きました。2023年で湘南馬車鉄道が蒸気機関による軽便鉄道となって110年。明治時代の秦野は葉煙草、落花生の生産地であり大山詣りの地として賑わっていました。そのため東海道線と結ぶ交通路して、明治39年秦野二宮間で開通したのが軽便鉄道の始まりです。しかし自動車や小田急線開通により昭和12年廃止になりました。今回はその廃線跡を辿りながら途中の古寺、巖島湿生公園などを訪ねました。

- ・龍門寺山門の龍や鯉の滝登りの彫刻が見事でした。
- ・米倉寺・米倉一族菩提寺の一つ米倉種継・繫次・権平までの墓が三百数十年もの風雪に耐え中井町指定重要文化財になって残っていました。
- ・巖島湿生公園・県内でもまれな清水が湧き出る湿生公園、園内中心には巖島神社があり湿生地には木道や東屋や休憩広場がありました。

自然観察：

- ・秦野駅南口から富士山を望めたのをはじめ各地から大山、弘法山、権現山を真っ青な空のもと見ることが出来ました。
- ・湿生公園の湿生植物は季節が早く見ることは出来ませんでした。が広場のハクモクレン、コブシ、ミモザ、彼岸桜が見事に満開で美しかったです。
- ・季節がら路傍のオオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ツクシ等可愛い花がいっぱい見られました。

特記事項：

- ・指定課題だった8つの駅跡(石碑)を全てクリア出来た。
- ・市街地では信号が多くまた参加人数が多かったので全員渡りきるのに2度待ちすることもあり時間をロスした。
- ・この地方一帯には水にまつわる多くの民話がありとても興味深く面白かった。